

# 九谷焼と関わりのあるポイント

アルファベットはマップの★マークに対応しています

## A. 寺井図書館

昭和55年に廃線となった「のみでん（北陸鉄道能美線）」の本寺井駅跡地に、当時の駅舎をイメージして建てられた。館内には、九谷焼作家の作品が飾られている。

## B. 文吉窯ギャラリー

創業百年を越える、九谷焼窯元の老舗「文吉窯」の常設展示場。

## C. 寺井武道館

九谷焼貿易商綿野吉二邸跡。綿野吉二は横浜商工会議所の副会頭を務め、九谷焼のみならず数々の事業を手掛けた凄腕の経営者であった。

## D. 格子の古民家

この界隈には、神戸、横浜へ進出した九谷焼貿易商が軒を連ねていたが、往時の面影をとどめるのはこの町家のみ。地域のコミュニティプレイスとして「住み開き」をしている。

## E. 森永キャラメルと九谷焼

貿易商綿野吉二商店の派遣員としてアメリカへ渡った倉元新七邸跡。同じ派遣員だった森永太郎と友情を深めた。後に、森永はアメリカで味わったキャラメルに感銘を受け、森永製菓を創業。新七の墓参りにたびたび寺井を訪れた森永は子ども達にキャラメルを配ったと言われている。

## F. 南天橋

旧北陸街道寺井宿のランドマークとして、明治の頃からいつしか「南天橋で会いましょう」が若者達の間で合言葉になっていた。橋の欄干には大名行列の九谷焼陶板がはめ込まれている。

## G. 九谷庄三工房跡

江戸末期、寺井に生まれた庄三はそれまでになかった新しい上絵技術を確認し、多くの優れた弟子達を育てた。この地の貿易商と手を取り合って九谷の名を世界に広めた先駆者。その工房がこのあたりにあった。

## H. 九谷神社

大正3年、九谷焼貿易商綿野吉二が自邸に、能美地区の九谷焼開祖本多貞吉と九谷庄三、綿野家先祖を祀る祠を建てた。横浜の支店が関東大震災で壊滅的打撃を受け、寺井の本店も閉める際に庄三会に祠を寄贈、庄三会は名を九谷神社と改め毎年6月に神社の祭礼として九谷まつり（後の九谷茶碗まつり）が行われてきた。

## I. 奥野八幡神社

地域の氏神様。秋の祭礼には壮麗な神輿が町内を練り歩く。社務所内には能美市指定文化財の九谷庄三作「富士越の竜図額皿」をはじめ、名工の作品が保管されている。

## J. 九谷庄三記功碑

大正10年、九谷庄三がいかに九谷焼に寄与したかを称賛し顕彰するために、当時の貿易商達を中心に地元はもとより、全国から寄付を募り建てられた碑。昭和49年、九谷神社と共に奥野八幡神社境内へ移された。

## K. 寺井町多目的ホール

平成15年10月、地域住民の手によって建てられた交流施設。ロビーには地元作家の九谷焼作品が展示されている。

## L. 三角公園

昭和22年10月、昭和天皇が寺井山道にあった九谷陶磁器会社へお立ち寄りになった。制作過程をご覧になった記念碑と、九谷焼陶板の旧寺井町案内図がここにある。

## M. 寺井郵便局

寺井の郵便局の開設は古く、明治7年に個人宅で始まり、その後寺井中町、寺井横町、寺井山道へと移り、平成2年に現在地に。局舎の壁面には九谷焼名工が手掛けた額皿が、ATMコーナーには当時の旧寺井町内の小学校5・6年生が制作した陶板がはめ込まれている。

# 知っていますか？ 寺井の九谷焼の始まり

寺井は藩政時代に、物資の集積地として加賀藩の年貢米を収納するお蔵が置かれました。そして、人の往来が多くなった旧北陸街道沿いには、茶屋や宿屋が建ちはじめ、宿場町として栄えました。

街道沿いの貧しい農家に生まれた九谷庄三は、11歳の時、口減らしのため若杉窯（小松市）へ奉公に出されたことをきっかけに、焼きものづくりに目覚めます。人一倍研究熱心で負けず嫌いな性格を活かして、各地で多種多様な技法を学んだ後、26歳の時に寺井に戻り窯を築きました。以来多くの名工を育て、九谷焼上絵の礎をつくったのです。

庄三は器の全面を埋め尽くす細密な線描きと、多彩な色使いを駆使した「彩色金襴手」という技法を完成させました。その絢爛豪華な美しさは、明治のはじめから大正時代にかけて、寺井の綿野吉二ら貿易商たちの尽力により、万国博覧会を通じて海外から高い評価を獲得し、「ジャパングタニ」と呼ばれて、神戸・横浜の港から世界へと羽ばたいていきました。

こうした九谷庄三や貿易商たちの功績によって、寺井は九谷焼の生産地として一躍脚光を浴びるようになったのです。



九谷庄三



庄三作 九谷焼

## 発行元 たらかつ協議会メンバー募集中！

寺井に住むみなさんが一緒になってまちづくりができるようにと、平成26年2月27日に寺井中心市街地活性化協議会「たらかつ協議会」は発足しました。

メンバーは無理をせず、自分の出来ることで、少しでも地域のにぎわいになればと活動しています。

このマップも、そのささやかな試みのひとつです。

【Facebook やっているよ！】  
▷<https://www.facebook.com/teraka2>



平成29年4月発行



寺井ってここ！



ふれあい安心チーム

～わたしたちがつくりました！～



九谷焼との思わぬ出会いが待っているかもしれません

何も無いような通りにも何かがあります  
このマップを手に  
まちを歩いてみませんか

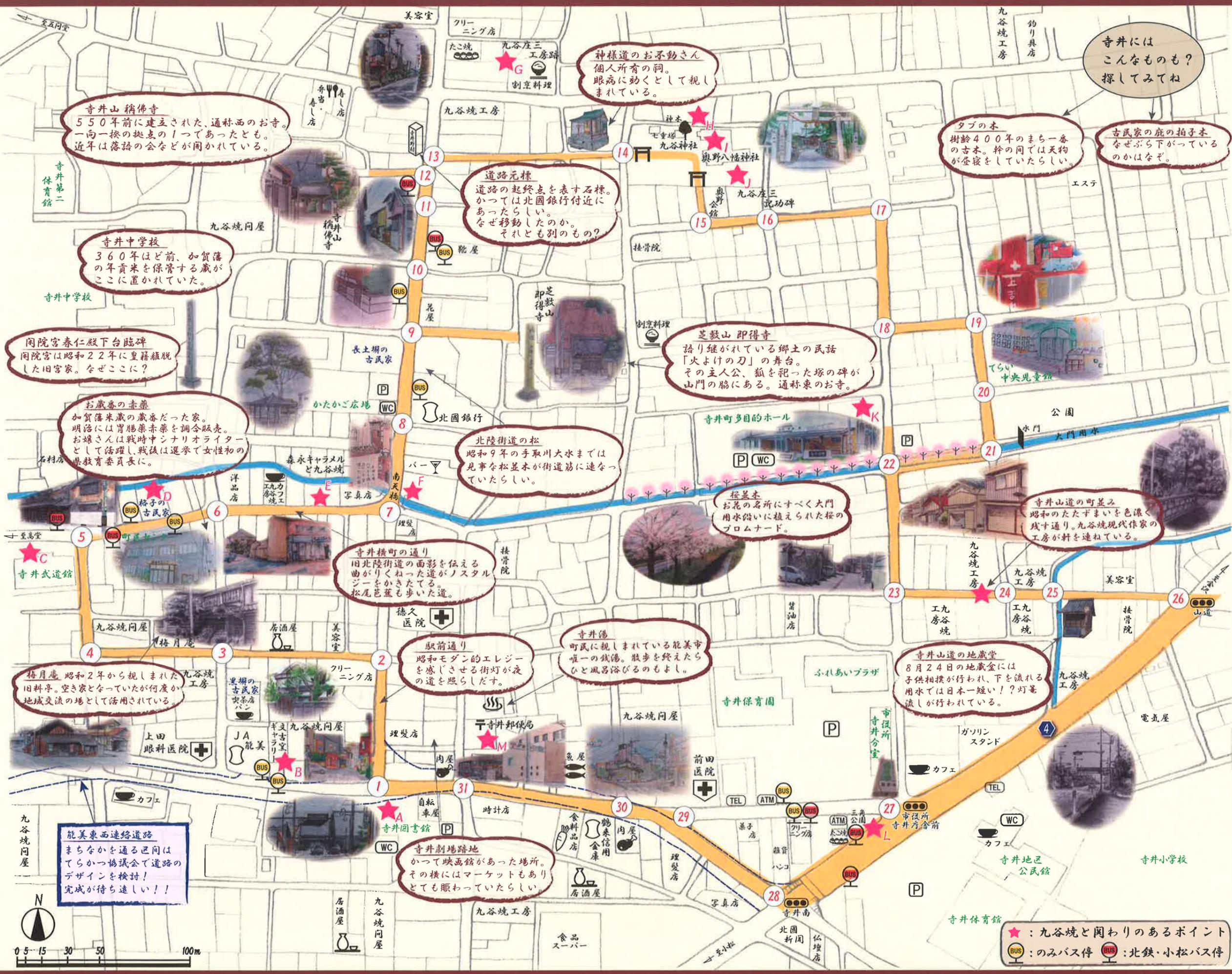
三十一ヶ所  
てらかつ  
てらかつ協議会  
てらかつ協議会



このマップで使用されているイラストは、小学生や高校生、八十歳のお年寄りまで、寺井のみなさんが三十一ヶ所の辻（交差点や通り、建物など）を描いたものです。

みそひとつ  
【三十一辻名】

- ① 寺井図書館辻
- ② (通称)駅前通り辻
- ③ 梅月庵辻
- ④ 旧小西のうどん前辻
- ⑤ 武道館辻
- ⑥ 横町信号辻
- ⑦ 南天橋辻
- ⑧ かたかご広場辻
- ⑨ 即得寺入口辻
- ⑩ 旧松坂宅前辻
- ⑪ 旧井出油店前辻
- ⑫ 稱佛寺入口辻
- ⑬ 奥野八幡神社表参道辻
- ⑭ 奥野八幡神社鳥居前辻
- ⑮ 奥野八幡神社南参道辻
- ⑯ 伊藤宅前辻
- ⑰ 市学住宅辻
- ⑱ 下浦宅前辻
- ⑲ てらい中央児童館辻
- ⑳ 児童公園辻
- ㉑ 大門用水桜並木辻
- ㉒ 多目的ホール辻
- ㉓ 岡田宅前辻
- ㉔ 山道作家通り辻
- ㉕ 山道地藏堂辻
- ㉖ 県道山道信号辻
- ㉗ 寺井地区公民館辻
- ㉘ 県道寺井南信号辻
- ㉙ 前田医院辻
- ㉚ 鶴来信用金庫辻
- ㉛ 寺井郵便局辻



**寺井山稱佛寺**  
550年前に建立された、通称西のお寺。一向一揆の拠点の一つであったとも。近年は落語の会などが開かれている。

**寺井中学校**  
360年ほど前、加賀藩の年貢米を保管する蔵がここに置かれていた。

**閑院宮春仁殿下台臨碑**  
閑院宮は昭和22年に皇籍離脱した旧宮家。なぜここに？

**お蔵番の赤薬**  
加賀藩米蔵の蔵番だった家。明治には胃腸薬赤薬を調合販売。お嬢さんは戦時中シナリオライターとして活躍し、戦後は選挙で女性初の農教委員長に。

**道路元標**  
道路の起終点を表す石標。かつては北國銀行付近にあったらしい。なぜ移動したのか。それとも別のもの？

**神様道のお不動さん**  
個人所有の祠。眼病に効くとして親しまれている。

**芝敷山 即得寺**  
語り継がれている郷土の民話「火よけの刀」の舞台。その主人公、狐を祀った塚の碑が山門の脇にある。通称東のお寺。

**北陸街道の松**  
昭和9年の手取川大水までは見事な松並木が街道筋に連なっていたらしい。

**桜並木**  
お花の名所にすべく大門用水沿いに植えられた桜のプロムナード。

**寺井横町の通り**  
旧北陸街道の面影を伝える曲がりくねった道がノスタルジーをかきたてる。松尾芭蕉も歩いた道。

**寺井湯**  
町民に親しまれている能美市唯一の銭湯。散歩を終えたらひと風呂浴びるのもよし。

**駅前通り**  
昭和モダンなエレジーを感じさせる街灯が夜の道を照らします。

**寺井山道の地藏堂**  
8月24日の地藏盆には子供相撲が行われ、下を流れる用水では日本一短い？灯籠流しが行われている。

**梅月庵**  
昭和2年から親しまれた旧料亭。空き家となっていたが何度か地域交流の場として活用されている。

**寺井劇場跡地**  
かつて映画館があった場所。その横にはマーケットもありとても賑わっていたらしい。

**能美東西連絡道路**  
まちなかを通る区間はてらかつ協議会で道路のデザインを検討！完成が待ち遠しい！！

★：九谷焼と関わりのあるポイント  
BUS：のみバス停 BUS：北鉄・小松バス停

①～⑳  
1周：約2.2km